

第 25 期 分子生物科学分科会 (第 2 回) 議事録

日時：2023 年 2 月 8 日 (水) 15:00~17:00

場所：zoom 会議

出席 (五十音順・敬称略)：石川 麻乃 (幹事)、石野 史敏、岩崎 渉 (副委員長)、小林 武彦 (委員長)、佐竹 暁子、塩見 美喜子、杉本 亜砂子、内匠 透、林 茂生、谷内江 望 (幹事)

欠席 (五十音順・敬称略)：荒木 弘之、東山 哲也

議題：

(1) 前回分科会の議題 (DORA 加盟) について進捗状況の報告

小林委員長より、学術会議での DORA (研究評価に関するサンフランシスコ宣言) 加盟の可能性については、現在検討中であること、生科連では 2022 年 1 月に意見がまとまり署名済みであることが報告された。

(2) 分子生物学および生命科学全般に関わる問題の意見交換

性別とジェンダーについて

小林委員長より、「男女」という生物学的性別の区別を離れて、LGBTQ などの性自認による多様性を目指すことについて各学会で議論があることについて話題提供があり、海外および国内での状況について委員らから紹介があり、意見交換が行われた。

小林委員長より、学術論文の影響度を評価する指標であるオルトメトリクスについて話題提供があり、個々の研究を国際的に評価するための指標としての機能、国内での状況、各報道機関への原著引用の要望についての情報共有がなされた。

(3) 学術会議改革法案についての意見交換

小林委員長より学術会議改革法案の現在までの経緯について話題提供があり、意見交換がなされた。

(4) J-stage との連携についての意見交換、意見の発出の可否

小林委員長より、前回分科会以降、J-stage の運営側との意見交換について話題提供があり、予算やインターフェースの課題、運営体制について意見交換がされた。また、日本学術会議から J-stage と学協会の連携の可能性、あるいは他の研究成果の発信方法に関する「報告」などの発出を行うか検討することで合意が得られた。他の分科会および委員会と調整する。

(5) 次回の予定

2023 年秋頃に開催されることで合意が得られた。